

よのこゝろ！ 本校の先輩達

未来を担う子らへの 期待を込めて

出雲市立庄原小学校 2016.10.14



【▲現在の二宮金次郎像】

本校には、3代目続く二宮金次郎像が正面玄関前にあります。

初代の像は、昭和12年4月宇屋谷の錦織竹香氏のご寄贈により建設されました。

しかし、戦争の激化に伴い物資不足となり、全国各地で梵鐘や半鐘、銅像等が次々と金属供出され、その姿を消していきました。

本校の金次郎像も、昭和17年2月5日に金属供出となり、「至誠報徳」の銘板がはめ込まれた台座と柵だけが残されました。戦後昭和24年、庄原地区の皆様のご支援により、第2代目となる二宮尊徳像（石像・座像）が建設されました。しかし、この石像が来待石であり30年を超える星霜を経て劣化が激しく、冬季にはビニルで覆いをして保護しなければならない姿になっていました。

そこで、昭和60年3月に初代二宮金次郎の姿として再建され現在に至っています。

その台座には、初代像台座に掲げられていた錦織竹香氏の揮毫による「至誠報徳」（思いやりと感謝の心を意味する）の文字が今も引き継がれています。

そして、台座の裏側（東側の面）には、ひっそりと代々の銘板が3枚はめ込まれています。

1枚目は

恩を忘れず世の為に盡くしませう」の校訓の象徴これを仰ぐ者報徳の精神に
燃立む事を期す
昭和12年3月1日建設

2枚目が

つくしてもつくしても、はげんでもはげんでも、まだ足りないと思って努力する
ところに幸福が生まれる。尊徳先生は一生をこの心で貫かれた方である。
昭和24年9月5日 庄原小学校PTA

3枚目は

「このわらじを使ってください。」父にかわって川の仕事に出た金次郎は、感謝
の気もちをこめて村人にわたしました。昭和60年3月30日 銅像再建委員会

80年を超える時を経ても変わる事のない、未来を担う庄原の子らへの庄原地区住民の皆さんからの期待が込められた言葉の数々が残されています。

どうか庄原小学校の前庭を訪れられた際は、二宮金次郎像をぜひご覧ください。そして、銅像台座の裏側（東側）の銘板もご覧いただければと思います。